

2020年4月6日

佐賀大学オンライン授業ガイド（授業担当者向け）

1. はじめに

佐賀大学では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大対応として、オンライン授業を想定する必要があります。具体的には次の事態が想定する必要があります。

- (1) 受講者が登校できないために教室で授業を受講できない（自宅待機指示されるなど）。
- (2) 授業担当者が出勤できないために教室で授業を実施できない（自宅待機指示されるなど）。
- (3) 教室で授業を実施できなくなる（大学での集団感染発生等）。

もし、これらの事態が生じた場合においても、ICTを活用し学生の履修機会をできるだけ確保する必要があります。本ガイドでは、授業担当者や授業履修者が、ICTを活用し授業の一部または全部を教室外で履修することをオンライン授業と呼ぶことにします。

本ガイドでは、従来、教室等において対面で行っていた授業をスムーズにオンライン化することに有用と考える情報を提供します。本学でオンライン授業を進めるにあたり、教職員の負担を減らす一助としていただくために活用してください。

2. オンライン授業と実施における留意点

オンライン授業の現行法上の位置づけは、大学設置基準第25条により明示されている「多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させること」に相当します。

「多様なメディアを高度に利用した履修」の要件は、いわゆるメディア授業告示（平成13年文部科学省告示第51号（大学設置基準第二十五条第二項の規定に基づく大学が履修させることができる授業等））により示されています。

したがって、授業の全部もしくは一部を教室で実施しない場合も、教室での実施と同じ対話的指導を同期型遠隔講義システム等を用いて行う場合や、教員や授業補助者（TA）が、インターネット等を介して、設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を行い、かつ、学生等の意見交換の機会が確保されていれば、大学が履修させることのできる授業として認められています（平成13年文部科学省告示第51号）。

いわゆる面接授業に対し、このような形式での授業は遠隔授業等と表現されています。以下ではこれをオンライン授業と呼ぶことにします。教室で実施する授業でなくても、教員やTAが、インターネット等を介して、設問解答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を行い、かつ、

学生等の意見交換の機会が確保されていれば、大学が履修させることのできる授業として認められています（平成 13 年文部科学省告示第 51 号）。

[メディア授業告示資料] 資料 6 大学における多様なメディアを高度に利用した授業について
中央教育審議会大学分科会第 18 回制度・教育改革ワーキンググループ（平成 30 年 9 月 7 日）配布資料

3. オンライン授業形態と留意点

メディア授業告示の要件を満たすオンライン授業の例として、3つの形態と留意点について述べます。

3. 1 オンデマンド型（資料配布型）

オンデマンド型教材提示による授業を行う場合には、教材を履修させる際に履修者の状況を踏まえた指導が必要となります。さらに、設問の解説や質疑応答等の対話的指導ならびに履修者同士の意見交換の機会を設けることが要求されます。

専門書等の書籍を、教材（教科書）として使う場合には、履修者の状況を踏まえて、課題を明示したうえで教材の活用方法についての具体的な指示書を作成するなどの指導が必要となります。

3. 2 オンデマンド型授業（授業録画型）

対面の授業のように、履修者を意識して解説動画を作成するケースです。この場合も、教材の視聴に加えて、設問の解説や質疑応答等の対話的指導ならびに履修者同士の意見交換の機会を設けることが要求されます。

3. 3 同時中継型

同期型遠隔講義システム等、授業担当者と受講者がリアルタイムに対話しながら授業を行う形態です。授業担当者が、受講者に具体的課題を指示し、その進捗に応じて対応指導したり、受講者に質問させその質問に応えるような対話的に指導したりする場合は、従来の教室での対面授業と同等と見做せます。授業担当者は、受講者本人が授業に参加していることを何らかの方法で確認する必要があります。

4. オンライン授業運用例

本学が想定している3つの基本的な授業形態について、一般的と思われる各回の授業運用の例を紹介します。これらはあくまで例であって、実際には、様々なバリエーションが有り得ます。

4. 1 オンデマンド型（資料配布型）

- 教員は講義資料（PDF やスライド）を LiveCampus や LMS (Moodle) に登録し、課題や活動内容をテキストで指示する

- 学生は資料をダウンロードし学習
- 学生はメッセージや課題を LiveCampus や LMS にアップロード・登録。学生は LiveCampus や LMS の掲示板、フォーラム上で議論。
※ それを受けて教員が必要なフィードバックを行う

4. 2 オンデマンド型授業（授業録画型）

- 教員が講義の様子をビデオ収録する（本庄キャンパスの全学教育では教室で自動収録が可能）、音声付 PowerPoint 授業資料などの教材を作成する。
- 動画教材を学生に視聴させる（Stream, One Drive, Moodle,等を使用）
- 学生は動画を視聴し、指示に沿って学習
- 学生は質問や課題等を LiveCampus や LMS で提出。学生は LiveCampus や LMS の掲示板、フォーラム上で議論。
※ それを受けて教員が必要なフィードバック

講義動画の制作方法の例

PowerPoint を使い、スライドショーの記録→エクスポート→ビデオの作成（macOS の Keynote にも同様の機能があります）

黒板等を前に講義する様子をビデオ収録（スマホ、デジカメ等）

ひとりだけのウェブ会議を実施し、その様子を録画する（Meet 等）

パソコンの画面をキャプチャして動画化（専用ソフトが必要）

4. 3 同時中継型

- 教員はウェブ会議システム（Webex 等）を使って、「会議」を設定する
- 教員は講義資料および「会議」への入り口(URL)を LiveCampus や LMS で受講学生に通知する
- 学生は指定の時間に「会議」に参加する。質問等があればチャット機能を用いる。学生も発言可。
- 教員は、適宜、PC 画面等に切り替えながら説明
- 学生は課題等を LiveCampus や LMS で提出
※ それを受けて教員が必要なフィードバック（欠席者および復習用に、録画したライブ映像を公開）

5 オンライン授業を支援する ICT ツール（随時更新）

- ・ 同時中継 ・ ・ ・ Webex、Teams の会議機能、同期型遠隔講義対応教室
- ・ 動画教材配信 ・ ・ ・ Microsoft Stream (Office365 の一部)、Webex 録画配信機能
- ・ 資料配布 ・ ・ ・ LiveCampus、Microsoft Teams (Office 365 の一部)、WebClass（総合情報基盤センター）、eラーニング（Moodle）
- ・ 小テスト ・ ・ ・ LiveCampus、Microsoft Teams (Office 365 の一部)、WebClass（総合情報基盤センター）、eラーニング（Moodle）

- ・ 掲示板（質問・意見交換）・・・LiveCampus、Microsoft Teams (Office 365 の一部)、WebClass (総合情報基盤センター)、eラーニング (Moodle)

6 問合せ窓口

全学教育機構高等教育開発室 (ICT 支援担当)

(教職員能力開発部門内)